

音 樂

(一般)

(器樂合奏)

(9) 音楽（一般） (10) 音楽（器楽合奏）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりする学習など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けるなど、言語能力の育成を図るための工夫 (3) 情報活用能力の育成に向け、ICTを活用した学習活動の充実を図るための工夫 (4) 学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりするための工夫 (5) 音楽科の特質に応じた体験活動を重視し、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と主体的に関わる学習を実施するための工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
3 その他	今日の課題への配慮や工夫

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について 活動例「Active!」や「話し合おう」のコーナーが掲載されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 〔例〕 DO-RE-MI・エーデルワイス（1年 P16）</p> <p>●着眼点(2)について 聴き取ったり感じたりしたことを記録し、対話的な活動につなげることによって、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽に対する価値を考え、言語活動を充実させるよう工夫されている。 〔例〕 小フーガ ト短調（2・3年上 P38～39）</p> <p>●着眼点(3)について 主体的な学習への意欲が高まるよう学習に役立つ情報「まなびリンク」にアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 花（2・3年下 P10～11）</p> <p>●着眼点(4)について 冒頭に1年間の学習の流れを示した「学習MAP」や「学習の進め方」が掲載されており、学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。 〔例〕 各学年（P8～9）</p>	<p>●着眼点(5)について 音楽の歴史的・文化的な背景、生活や社会における音楽の働きや役割について、音楽活動を通して理解できるよう工夫されている。 〔例〕 日本とアジアの声によるさまざまな表現（1年 P58～61）</p> <p>●着眼点(6)について 写真や学習に関連したインターネット上の資料を掲載することで、生徒の興味・関心を引き出し、主体的に学習を進められるよう工夫されている。 〔例〕 浜辺の歌（2・3年上 P16～19）</p> <p>●着眼点(7)について 創作においては、小中学校の9年間で一貫して実践できる活動が掲載されており、学習内容の系統性に配慮されている。 〔例〕 「音のスケッチ」（2・3年下 P30～33）</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
27 教芸	<p>●着眼点(1)について 「学びのコンパス」では、参考となる学びの手順や観点が具体的に示されており、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 〔例〕旋律の特徴や曲の構成を捉えよう (1年 P19)</p> <p>●着眼点(2)について 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考及び判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう工夫されている。 〔例〕My Voice! (2・3年上 P17)</p> <p>●着眼点(3)について 個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて、学習に役立つデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕Let's Create! (2・3年下 P30～31)</p> <p>●着眼点(4)について 1年間で学習する内容を示した「学びの地図」や1年間の学習を振り返ることができる「音楽の学びを振り返ろう」等が掲載されており、学習の見通しをもったり振り返ったりできるよう工夫されている。 〔例〕各学年 (P8～9)</p>	<p>●着眼点(5)について 特集ページが設けられ、生活や社会の中の音や音楽について知り、それらと自分たちとのつながりを実感できるよう工夫されている。 〔例〕生活や社会の中の音や音楽 (1年 P68～69)</p> <p>●着眼点(6)について 特集ページや鑑賞教材の資料、楽典事項などが掲載されており、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕各学年 (巻頭)</p> <p>●着眼点(7)について 1年に小学校の基礎的な学習内容を確認するページが設定されているとともに、2・3年でも繰り返し学習できるよう工夫されている。 〔例〕リズムゲーム (1年 P16～17、 2・3年上 P32～33)</p>

2 使用上の便宜

項目 目 発行者の 番号・略称	総 ページ	(1)内容別配当の分量						(2)教材・資料等の分量										
		A表現			B 鑑賞	共通 事項	数 歌 唱 に 関 す る 教 材 ・ 資 料	数 器 楽 に 関 す る 教 材 ・ 資 料	数 創 作 に 関 す る 教 材 ・ 資 料	数 鑑 賞 に 関 す る 教 材 ・ 資 料	材 〔 共 通 事 項 〕 に 関 す る 教 材 ・ 資 料 数	主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び に 関 す る 教 材 ・ 資 料 数	教 材 ・ 資 料 数	伝 統 文 化 の 尊 重 に 関 す る 資 料 数	国 際 理 解 に 関 す る 教 材 ・ 資 料 数	社 会 と の つ な が り に 関 す る 教 材 ・ 資 料 数	そ の 他	三 重 県 に 関 わ る 記 述 等
		歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞													
17 教出	1年	94	51	3	5	21	17	29	2	3	10	42	28	6	9	2	5	○
	2・3 年上	94	43	9	4	23	25	23	5	2	8	34	20	5	8	8	5	-
	2・3 年下	94	39	6	4	18	33	19	0	2	7	29	32	3	8	13	5	-
27 教芸	1年	100	51	0	6	24	19	22	0	3	11	35	32	10	9	3	4	○
	2・3 年上	100	45	0	6	28	21	20	0	3	7	29	32	7	9	10	4	○
	2・3 年下	100	42	0	4	33	21	18	0	2	9	30	32	6	7	15	4	-

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫 等

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判を採用し、軽量で丈夫な紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインが採用されている。 ・巻末の折込には丈夫な紙が使用され、長期間の使用に耐えられるよう配慮されている。
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・AB変型判を採用し、軽量で丈夫な紙が使用されている。 ・レイアウトや囲みの形を工夫することにより、視認性の高い紙面構成となるよう配慮されている。 ・ユニバーサルデザインフォントや区別しやすい色を使用するなど、誰もが見やすい紙面になるよう配慮されている。

3 その他

発行者の 番号・略称	今日的な課題への配慮や工夫
17 教出	・国歌「君が代」のページでは、オリンピックやパラリンピックなどのスポーツ大会の写真を用いて、国歌が担う国際的な役割について学習することができるよう工夫されている。
27 教芸	・国歌「君が代」のページでは、他国の国歌も同様に尊重することを通して、国際理解について学習することができるよう工夫されている。

音楽（器楽合奏）

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について 多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動が複数掲載され、基本的な奏法を生かして他者と協働して表現できるよう工夫されている。 〔例〕もみじ（P64）</p> <p>●着眼点(2)について 考えたことを交流する活動を設定することで、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽や演奏のよさや価値を考え、言語活動を充実させるよう工夫されている。 〔例〕表現の仕方を調べてみよう PART-1（P30）</p> <p>●着眼点(3)について 主体的な学習への意欲が高まるよう学習に役立つ情報「まなびリンク」にアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕リズム de ゴー（P10～11）</p> <p>●着眼点(4)について 学びのねらいをスタート、「まとめの曲」をゴールと設定し、学習を見通せるよう工夫されている。 〔例〕左手で吹こう（P12～13）</p>	<p>●着眼点(5)について 楽器を通じた人と人とのつながりを生み出す取組が紹介され、生活と社会のつながりについて考えられるよう工夫されている。 〔例〕音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ（P4）</p> <p>●着眼点(6)について 楽器ごとのインデックス、合奏の難易度、活動例を表すアイコンが示されるなど、生徒の興味・関心に合わせた学習が促されるよう工夫されている。 〔例〕各ページ</p> <p>●着眼点(7)について 歴史的・地理的事象を扱うなど、他教科等の学習との関連を図った学習活動が充実するよう工夫されている。 〔例〕弾く楽器の仲間たち（P56～57）</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
27 教芸	<p>●着眼点(1)について 様々なアンサンブル活動を通して、他者と協働しながら学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕風にのって (P54～55)</p> <p>●着眼点(2)について 聴き取ったり感じ取ったりしたことをもとに思考及び判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう工夫されている。 〔例〕アーティキュレーションを工夫しよう (P17)</p> <p>●着眼点(3)について 個別最適な学びや協働的な学びの実現ができるよう学習に役立つデジタルコンテンツにアクセスできるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕リコーダー (P13)</p> <p>●着眼点(4)について 1年間で学習する内容を示した「学びの地図」が掲載されており、学習の見通しをもてるよう工夫されている。 〔例〕「中学生の器楽」の学習内容 (P8～9)</p>	<p>●着眼点(5)について 特集ページが設けられ、生活や社会の中の音や音楽について知り、それらと自分たちとのつながりを実感できるよう工夫されている。 〔例〕楽しもう！和楽器の音楽 (P107)</p> <p>●着眼点(6)について 特集ページや楽典事項、資料などが掲載されており、生徒が興味・関心をもちながら主体的に学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」 (P2～3)</p> <p>●着眼点(7)について 道徳教育や人権教育の観点に立ち、生徒が自分自身のよさや可能性を認識して個性を生かしながら、多様な他者を価値ある存在として尊重し、協働していくことができるよう工夫されている。 〔例〕姿勢と礼儀 (P36)</p>

2 使用上の便宜

項目 目 発行者の 番号・略称	総 ページ	(1)内容別配当の分量					(2)教材・資料等の分量											
		A表現			B 鑑賞	共通 事項	数 歌 唱 に 関 する 教 材 ・ 資 料	数 器 楽 に 関 する 教 材 ・ 資 料	数 創 作 に 関 する 教 材 ・ 資 料	数 鑑 賞 に 関 する 教 材 ・ 資 料	材 〔 共 通 事 項 〕 に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	主 体 的 ・ 対 話 的 で 深 い 学 び に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	教 材 ・ 資 料 の 尊 重 に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	資 料 の 尊 重 に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	国 際 理 解 に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	社 会 と の つ な が り に 関 する 教 材 ・ 資 料 数	そ の 他	三 重 県 に 関 わ る 記 述 等
		歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞													
17 教出	108	0	93	1	6	8	7	116	6	6	40	75	29	25	40	5	-	
27 教芸	108	0	91	1	2	14	6	118	2	15	40	79	18	24	30	5	-	

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫 等

17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判を採用し、軽量で丈夫な紙が使用されている。 ・ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインなど、学びやすい紙面づくりに配慮されている。 ・巻末の折込には丈夫な紙が使用され、長期間の使用に耐えられるよう配慮されている。
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・A4変型判を採用し、軽量で丈夫な紙が使用されている。 ・レイアウトや囲みの形を工夫することにより、視認性の高い紙面構成となるよう配慮されている。 ・ユニバーサルデザインフォントや区別しやすい色を使用するなど、誰もが見やすい紙面になるよう配慮されている。

3 その他

発行者の 番号・略称	今日的な課題への配慮や工夫
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs（10人や国の不平等をなくそう）に関して、どのような取組ができるか考えるきっかけになるページが設定されている。 ・選択可能なオプション教材が掲載されていて、各学校の実態に合わせたカリキュラムに対応できるよう工夫されている。
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な内容として、バンドや伝統の枠を超えて活躍する和楽器など生徒の興味・関心・意欲を高めるための資料が掲載されている。 ・巻頭に3つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が示されていて、学習計画や評価計画を立てる際の参考にできるよう工夫されている。